NCI-H526

305278

□要

□明

NCI-H526□胞株はヒト成人の小□胞肺癌（SCLC）に由来する。この□胞株は癌研究、特に小□胞肺癌の研究に広く用いられており、小 □胞肺癌はその攻撃的な性質と予後の悪さで知られている。NCI-H526□胞は、SCLCの生物学を研究し、その急速な増殖と転移を理解し、新しい治療戦略を開発するための重要なモデルとなる。
NCI-H526□胞は小□胞肺癌に特徴的な円形で懸濁増殖する形態を示す。これらの □胞は、クロモグラニンAやシナプトフィシンといったSCLCに典型的な神経内分泌マーカーを発現している。研究者らはNCI-H526□胞を用いて、SCLCに関連する遺伝的・エピジェネティックな変化（このタイプの癌で頻繁に変異する TP53やRB1遺伝子の変化を含む）を研究している。これらの□胞はまた、ノッチ経路、PI3K/Akt経路、ヘッジホッグ経路など、SCLCの進行を促進するシグナル伝達経路の探索にも用いられている。創薬と薬剤開発において、NCI-H526□胞は化学療法剤、標的療法、新しい治療法の組み合わせの有効性を評価するために利用される。小 □胞肺癌研究におけるNCI-H526□胞株の関連性は、この困難な疾患の理解を進め、より効果的な治療法を開発する上でその重要性を強調している。

ティッシュ	肺
病気	小□胞がん
転移部位	骨髄

同義語

- H526
- H-526
- NCIH526

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	サスペンション
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮
腫瘍形成性	はい、アチミックマウスで

識別子

引用

NCI-H526（Cytion カタログ番号 305278）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_1569

発現と感受性

発がん遺伝子

Myc+ ′ myb+ ′ fes+ ′ fms+ ′ raf+ ′ ras+ °

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

変異プロファイル

変異：TP53 ′ c.97-1G>C（IVS3-1G>C）、ホモ接合体

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640 ′ w：2.0mM安定グルタミン、w：2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37℃ ′ 5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

継代培養

懸濁□胞：新しいメデュームでピペッティングし、 □胞を基質から除去する。単一□胞を得るには、懸濁液を22ゲージの針に数回通し、新しいフラスコに分注する。

流体の更新	週2〜3回

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10％DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150〜-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	55年
民族	ヨーロピアン

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

商品詳細

構成表